

全国高等院校国际商务日语系列统编教材

商务 日语谈判

对外经济贸易大学 李爱文 著

SHANGWU
RIYU
TANPAN



中国商务出版社
CHINA COMMERCE AND TRADE PRESS

全国高等院校国际商务日语系列统编教材

商务日语谈判

李爱文 著

中国商务出版社

图书在版编目(CIP)数据

商务日语谈判/李爱文著. —北京:中国商务出版社,
2006

(全国高等院校国际商务日语系列统编教材)

ISBN 7-80181-482-7

I. 商... II. 李... III. 贸易谈判—日语—口语—
高等学校—教材 IV. H369.9

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2006)第 009656 号

全国高等院校国际商务日语系列统编教材

商务日语谈判

李爱文 著

中国商务出版社出版

(北京市安定门外大街东后巷 28 号)

邮政编码:100710

电话:010—64269744(编辑室)

010—64220120(发行二部)

网址:www.cctpress.com

Email:cctpress@cctpress.com

新华书店北京发行所发行

山东新华印刷厂德州厂印刷

787×980 毫米 16 开本

15.875 印张 294 千字

2006 年 2 月 第 1 版

2006 年 2 月 第 1 次印刷

印数:4000 册

ISBN 7-80181-482-7

F·857

定价:26.00 元

版权专有 侵权必究

举报电话:(010)64212247

□ □ 总 序

中国加入世界贸易组织以来，中国的经济高速发展，进出口贸易、技术交流和相互投资日益繁荣。与此同时，我国与日本的经济贸易的交往逐年扩大，在全国大中城市，尤其是沿海开放城市，急需大批的日语专门人才。商务日语人才是我国经贸事业发展不可缺少的部分，在我国经贸事业的人才需求中占有重要的地位。对日本的经济贸易关系的发展与商务日语人才的培养是相辅相成的关系，我国庞大的对日经济贸易业务需要大量的商务日语专业人才；而大量商务日语专业人才的参与，又反过来为我国对日本经济贸易的顺利发展提供有力的帮助。如何编写一套供学习商务日语的系列教材成为当务之急。中国商务出版社审时度势，及时出版了这套商务日语系列教材。本套教材无论是从内容到实务，还是从翻译、谈判、听说、阅读到商务函电写作，都作了全方面的考虑和设计，所选材料都来自原版日文报刊，编写者绝大部分有留学日本的经验，部分日籍专家又参与了写作，确保了这套教材的质量，并力求最大限度地满足我国对商务日语人才的需要。

中国商务出版社是商务部所属唯一的出版社，多年来一直致力于促进我国对外经济贸易教育事业的发展。为出版这套教材，中国商务出版社组织了全国开设日语专业的七十多所高等院校的专家和教师共同编写。这套教材共计 11 本，包括《日本经济》、《日本商务礼仪》、《日本市场概况》、《商务日语函电》、《商务基础日语》、《商务日语谈判》、《商务日语听力教程》、《商务日语文章选读》等。本套教材也是目前国内唯一的一套成规模、成系统的商务日语教材。

我真诚地把这套教材推荐给广大院校和读者，相信这套教材一定能够为我国商务日语人才的培养做出卓越的贡献。

中国国际贸易学会会长
中国前驻日本使馆公使衔商务参赞

施同海

2005 年 10 月 28 日

□□前言

随着我国加入世界贸易组织,市场开放进程的不断加快,中国经济作为世界经济的重要组成部分,其影响力正在日益增强。随之,对外语人才的需求也呈现出多元化的趋势,仅仅具备单一的外语知识,已经不能满足社会经济发展对外语人才的需求。

教育部曾在2000年年初主持召开了“面向21世纪培养高级外语复合型人才战略研讨会”,确定了为适应新形势下国家经济建设与社会发展对外语人才的需求,对现行培养模式、课程体系以及教学内容进行改革的思路。

本教材正是为了达到日语教学与国际商务的有机结合、探索培养复合型人才的新途径而编写的,它涵盖了对外经济贸易的基本内容和所有的业务环节,内容包括:

一、经济贸易政策方面:我国贸易管理体制、吸引国外直接投资,以及日本的经济贸易政策等。

二、进出口业务方面:价格、估算、运输、包装、保险、索赔,以及商品代理的谈判内容。为了便于整体上把握贸易谈判的各个环节,还增设了进出口综合谈判的内容。

三、企业间经贸合作:来样加工、补偿贸易,以及合资办厂等项目的谈判。

四、外国直接投资:外资独资经营、提供贷款等项目的谈判。

五、政府间经贸合作项目:经济贸易协定和日元贷款的谈判等。

本书的体例安排如下:

全书共分十四章,每章分为五部分:(一)课文—每章有具体的谈判案例若干;(二)单词及术语—按每课课文分别排列;(三)附加单词及术语—包括商务日语专用词汇、英文缩略语等;(四)翻译练习—中译日、日译中;(五)参考译文—按每章的课文顺序排列。

本教材适用于大学本科日语专业高年级学生,亦可供具有一定日语基础的自学者以及从事涉外经贸工作的人员学习、参考之用。

本教材获得了对外经济贸易大学的教材立项资助,并承蒙日本贸易振兴机构的中井邦尚先生对初稿做了认真审阅,在此一并表示诚挚的谢意。

由于编者水平所限,不当之处在所难免,敬请专家、同仁和读者指正。

编者
2005年8月

目 录

第一章 貿易政策

- 一、课文 (1)
- 二、单词及术语 (8)
- 三、附加单词及术语 (10)
- 四、翻译练习 (11)
- 五、参考译文 (12)

第二章 価格交渉(一)

- 一、课文 (18)
- 二、单词及术语 (24)
- 三、附加单词及术语 (27)
- 四、翻译练习 (28)
- 五、参考译文 (30)

第三章 価格交渉(二)

- 一、课文 (35)
- 二、单词及术语 (41)
- 三、附加单词及术语 (44)
- 四、翻译练习 (44)
- 五、参考译文 (46)

第四章 決済条件の交渉

- 一、课文 (51)
- 二、单词及术语 (56)
- 三、附加单词及术语 (59)

四、翻译练习	(61)
五、参考译文	(62)

第五章 船積と納期の交渉

一、课文	(67)
二、单词及术语	(73)
三、附加单词及术语	(77)
四、翻译练习	(78)
五、参考译文	(80)

第六章 商標と包装の交渉

一、课文	(86)
二、单词及术语	(93)
三、附加单词及术语	(97)
四、翻译练习	(97)
五、参考译文	(99)

第七章 保険交渉

一、课文	(105)
二、单词及术语	(110)
三、附加单词及术语	(112)
四、翻译练习	(113)
五、参考译文	(115)

第八章 クレーム及び損害補填の交渉

一、课文	(120)
二、单词及术语	(128)
三、附加单词及术语	(130)
四、翻译练习	(131)
五、参考译文	(133)

第九章 輸出交渉の実例

- 一、课文 (139)
- 二、单词及术语 (143)
- 三、附加单词及术语 (145)
- 四、翻译练习 (146)
- 五、参考译文 (148)

第十章 輸入交渉の実例

- 一、课文 (151)
- 二、单词及术语 (156)
- 三、附加单词及术语 (158)
- 四、翻译练习 (159)
- 五、参考译文 (161)

第十一章 販売代理契約の交渉

- 一、课文 (166)
- 二、单词及术语 (171)
- 三、附加单词及术语 (172)
- 四、翻译练习 (173)
- 五、参考译文 (174)

第十二章 企業間経済協力の交渉

- 一、课文 (179)
- 二、单词及术语 (192)
- 三、附加单词及术语 (195)
- 四、翻译练习 (196)
- 五、参考译文 (198)

第十三章 外国直接投資の交渉

- 一、课文 (208)
- 二、单词及术语 (215)
- 三、附加单词及术语 (217)

四、翻译练习	(218)
五、参考译文	(220)

第十四章 政府間經濟協力の交渉

一、课文	(226)
二、单词及术语	(234)
三、附加单词及术语	(236)
四、翻译练习	(237)
五、参考译文	(239)

参考文献	(246)
-------------------	-------

第一章 貿易政策

一、课文

(1)

日 方: こんにちは。

中 方: こんにちは、ようこそおいでくださいました。

日 方: 日本物産の中川というものです。はじめまして、どうぞよろしくお願
いします。

中 方: 中国対外貿易促進委員会の劉です。よろしくお願います。中国は
初めてですか。

日 方: いいえ、中国には何度も来ておりますが、ここ数年は、一度も来ており
ません。今回訪問して、北京の大きな変貌ぶりを目のあたりにして、
本当に感無量です。

中 方: 外国の友人はみなそうおっしゃるのですが、これらの変化は一言で言
うと、みな、改革と対外開放政策のおかげですね。

日 方: 貴国の改革開放政策と経済発展については、日本でもよく耳にします
が、具体的な状況については、まだ十分に理解しておりません。よろ
しければ、最近の様子をご紹介いただきたいですが。

中 方: そうですね。20世紀70年代末以降、中国は方向転換を図り、経済発
展に重点を移し、改革と対外開放政策を実施して、自国を中国の特色
を持つ社会主義国家に築きあげるよう全力を注いできました。

日 方: なるほど。私は近い将来、中国が先進国になることを確信しており
ます。

中 方: しかし、中国は依然として世界最大の発展途上国であり、多くの分野
で遅れをとっているのが現状です。そのため、中国は、改革開放のテ

ンポを速め、一生懸命に経済を発展させ、できるだけ速く先進国に追いつくよう努力しているところです。

日 方: 今、中国の人々の生活はだいぶ豊かになってきていますね。

中 方: これまでに比べれば、遥かによくなっています。先進国に比べると、相当な開きがあります。

日 方: 一人当たりの所得を見れば、確かに低いかも知れませんが、中国は物価も安いし、購買力平価で計算すると、かなりの経済規模になっているのでしょ。現在の経済の驚異的な発展ぶりから、中国政府の経済政策がいかに有効であるかがよくわかります。

中 方: お褒めいただき、ありがとうございます。

日 方: ところで、一つ、教えていただきたいことがあるんですが、よろしいでしょうか。

中 方: 何のことでしょうか。どうぞ、おっしゃってください。

日 方: これまでの対外開放は、主に沿海地域で展開されましたが、現在、中国政府は西部開発を打ち出していますね。そのことについて、具体的に、教えていただけないでしょうか。

中 方: 確かに、改革、開放の初期段階においては、対外開放は沿海地域に限定されていましたが、改革開放の浸透に伴い、この政策は、すでに内陸地域まで広く展開されるようになってきました。近年、中国政府は、その他の地域に比べ、比較的貧困で、立ち遅れている西部地域を開発するために、ヒト、モノとカネをより多く投入するよう全国に呼びかけています。また、西部地域への投資を奨励するために、さまざまな優遇措置を打ち出しています。当然外国企業が西部地域に投資する際も、いろいろと優遇政策があります。

日 方: 具体的な優遇政策として、どのようなものがあるのでしょうか。

中 方: 時間の関係で詳しいことは、お話しできませんが手もとに《外国企業の西部地域投資に関する指導目録》がありますので、どうぞご参考にしてください。

日 方: ありがとうございます。

(2)

日 方: 北京滞在中、改革開放政策がいかに大きな変化をもたらしたかを身を持って体験しました。そこで、改革開放の具体的な経過について教えていただきたいと思いますが。

- 中 方:それを一口で申し上げると、経済管理体制の改革ですねつまり従来の計画経済を市場経済に移行させ、競争原理を導入して、優勝劣敗の中で、資源の有効配分を実現し、徹底した対外開放政策を実施して、段階的に世界経済の枠組みの中に加わっていくということですね。
- 日 方:なるほど、どこの国も同じですが、これまでの経験や教訓をたえず総括し、時代の要求に適応しなくなったものを排除し、諸外国の有益な経験を取り入れて、経済発展を図らなければなりませんね。
- 中 方:まったくそのとおりです。中国は、まさに過去の経験と教訓を十分に総括しながら、社会主義市場経済の基本的な方針を確立しました。現在、中国では、国有企業以外に、さまざまな所有形態の企業が多く誕生しており、とりわけ私営企業と外資系企業の比率が増大しています。
- 日 方:外資系企業ですか。そういえば、外国企業が中国に投資する場合、具体的に、どのような政策があるのでしょうか。
- 中 方:改革開放の当初から、中国政府は、外国の資本と技術を導入するために、外国企業の投資に対し、優遇措置を講じて来ました。ただ、改革開放の初期には、これらの優遇政策は、主に経済特別区と沿海の経済技術開発区に集中していましたが、その後、徐々に全国に拡大されてきています。中国のWTO加盟にともなって、これらの優遇措置は徐々に廃止され、外国企業には“内国民待遇”が適応されることとなります。そうなれば、国内企業も外資系企業も同じ条件のもとで、自由競争が可能になります。
- 日 方:なるほど。きっと多くの外国企業が中国に進出しているのでしょうか。
- 中 方:近年、とりわけ中国のWTO加盟後、中国に投資する外国企業はますます増えてきており、沿海地域だけでなく、内陸及び西部地域まで進出するようになってきました。投資分野は、製造業に限らず、小売、金融及び通信などのサービス業にまで、拡大されています。統計によると、2002年の末までに、中国政府が許可した外資系企業数はすでに424196社にのぼっており、投資総額は契約ベースで、8280.60億ドル、実行ベースで、4479.66億ドルとなっています。そのうち、日本の対中投資額は、契約ベースで414億ドル、実行ベースで362億ドルとなっています。中国はいまや、外資導入において毎年世界ランキングの上位を占めるようになってきました。
- 日 方:日本国内では、中国は政策の変更が多くて、投資リスクが高いという

見方が一部にあります。これについて、どのように見ておられますか。

中 方: これらの人は、現在の中国のことをまだよく理解されていないと思います。つまり、古いものさしで、中国を見ておられるということですね。中国は社会が安定しており、投資環境も非常に良好です。WTO加盟後は、中国経済と世界経済との融合が促進され、外国企業の中国での投資環境は、さらに改善されることと思います。

日 方: これで、多くの外国企業が中国への投資を希望している理由がよくわかりました。これとは別に、WTO加盟後、貿易政策はどう変わっているのか、教えていただきたいと思います。

中 方: 一口で申し上げると、WTO加盟によって、中国の貿易管理体制は、大きく改善されたということです。中国政府は、WTO加盟に際して、WTOとのすべての協定を厳守し、約束を確実に実行することを世界に表明しています。それはつまりスケジュール表にもとづき、国際的に通用する対外貿易管理体制を構築するということです。

日 方: 具体的に、どのように政策を実施していくのでしょうか。

中 方: まず、WTO加盟時の合意にしたがって、関税を徐々に引き下げていきます。2005年までに、工業製品の平均関税は、9.4%まで下がり、輸出入許可制度などを含む非関税障壁も段階的に撤廃される予定です。

日 方: そうすると、今後外資系企業も対外貿易業務が行えるようになるのでしょうか。

中 方: もちろんです。原則として、貿易会社の設立は、WTO加盟後三年以内に、許可制から登録制に変わります。つまり、中国国内の企業であれば、登録手続きを経て、輸出入経営権を取得することができますようになります。その中には、当然、独資企業も、合弁企業も含まれています。輸出入経営権の規制緩和にともない、企業間の競争はきつと激しさを増してくるに違いありません。それで、うちの会社はこの新しい変化に対応し、競争力を維持していくために、品質の確保、品種の多様化、納期の厳守、取引方法の柔軟化などの面で、いっそう努力していかなければなりません。

日 方: 御社では、具体的に、どのような業務を行っていますか。

中 方: 弊社の扱う商品は広範囲に及んでいます。また、各種の柔軟な取引方法を採用しています。例えば、委託加工貿易、見本委託加工貿易、スイッチ貿易、補償貿易、バーター貿易及び貿易代理制など、いずれの方

法でも取引は可能です。

日 方:すばらしいことですね。そうすれば、御社と協力する可能性もいっそう高くなりますね。

中 方:おっしゃるとおりです。われわれは日本企業の投資を歓迎しています。と同時に、日本の業者と貿易面でのさまざまな協力や提携も図っていきたいです。

日 方:中国は国土が広く、資源が豊かな上、安価な労働力にも恵まれているので、理想的な投資先だと思います。ご紹介いただいた内容を十分検討させていただき、最終的な結論を出したいと思います。

中 方:もとの話題に戻りますが、中国の開放政策は現在はもちろん、将来にわたっても変更のないことを私は責任を持って申し上げておきます。なぜなら、この政策は中国の経済発展と人民の生活向上に役立っているからです。それならば、こうした政策を変更する理由はありません。

日 方:ご紹介いただいて、大変心強く感じました。お忙しい中おつきあいいただき、また、いろいろと貴重な情報を提供していただきまして、ありがとうございました。

中 方:いいえ、どういたしまして。

日 方:だいふ遅くなりましたので、これで、失礼いたします。

中 方:そうですか、それでは、また。今後の協力を期待しています。

(3)

中 方:荒井さん、おひさしぶりです。

日 方:ほんとうにお久しぶりですね、お元気ですか。

中 方:おかげさまで、元気です。荒井さんはいつお会いしても、お若いご様子で、ほんとうにうらやましいですね。

日 方:私は元気な以外は、取柄がないですから。

中 方:そんなことはないでしょう。どうぞ、こちらへ。お茶をどうぞ。

日 方:お邪魔します。いつも御社にお世話になりまして、感謝申し上げます。

中 方:どういたしまして。実は、今日は日本の最近の様子を教えていただきたいとお越しいただいたのですが。

日 方:どういう方面のことでしょうか。どうぞ、ご遠慮なくおっしゃってください。私の知っている限りご紹介しますので。

- 中 方:日本では、“バブル経済”崩壊後、経済の面でさまざまな変化が起きていますね。景気が低迷し、企業経営の面でも大きな変革が生じています。取引先との長期的な協力関係を維持し、中日両国の経済協力を発展させるために、日本のマクロ経済動向や市場需給に関する具体的な情報をお聞かせいただきたいのですが。
- 日 方:現在の日本の経済事情は、先生もよくご存じだと思いますが、20世紀90年代の初めに、“バブル経済”が崩壊した後、経済はずっと低迷を続けています。土地と株の値下がりによって、資産デフレが起きており、さらに、銀行の不良債権の大量発生につながっているんです。これが景気の長期低迷の主因になっています。
- 中 方:不良債権問題がなかなか解決できないのはいったいなぜでしょうか。
- 日 方:この問題がまさに日本の景気回復のカギを握っています。不良債権を解消するには、基本的に経済の発展、企業業績の好転に頼るしかないのですが、大量の不良債権の存在はかえって、企業の投資意欲を減退させ、景気の回復を遅らせています。両者の間には、悪循環になっています。
- 中 方:こうした状況下において、日本政府はなんらかの措置を取れないのでしょうか。
- 日 方:多額の銀行不良債権に対して、政府は金融システムの健全性を確保するため、いくつかの具体的な対策を打ち出していますが、日本の政治制度の制約もあり、抜本的な解決策はいまだに見出していないのが現状です。
- 中 方:ただ、いろいろ問題があるにせよ、日本経済は全体的にやはり強い競争力を持っています。とりわけ、ハイテク分野では高度な研究開発能力を持っており、世界トップレベルの技術を持っている分野も少なくありません。また、日本の製造業も国際的に強い競争力を持っていますね。日本の外貨準備高が世界の首位を占めていることもこのことを立証しています。
- 日 方:それも事実ですが、ほとんどの企業や個人は日本の将来について、悲観的であり、そうした雰囲気は企業の設備投資に影響を与えるばかりでなく、個人消費を萎縮させる恐れもありますので、心配ですね。
- 中 方:個人消費というと、長い間日本とお付き合いしてきた人間として、日本市場の動向にたいへん関心を持っていますが、すこし具体的に紹介していただけないでしょうか。

- 日 方: さきほど“バブル経済”崩壊の後、日本経済の長期不況は、個人消費に直接影響を与えていると申し上げましたが、しかし、この消費不振もあらゆる商品がそうだというわけではなく、一部の安い生活必需品はやはり売れています。
- 中 方: もっと具体的に言いますと、日本市場における中国製品の売れ行きはどうか。
- 日 方: さきほど申し上げた安い生活必需品というのは、実はほとんどが中国製です。中国製品は、生産コストが安く、価格競争力がある上、品質、包装なども日本人のニーズに合っていますので、全体的に消費が振るわない中で、中国製品の販路はかえって拡大しています。
- 中 方: これはなかなか注目に値する情報ですね。お話しを伺って、日本市場に進出する自信が湧いてきました。
- 日 方: もちろん、日本市場へ行く中国製品にはいくつか注意すべき点もあります。ついでにご参考までに、申し上げます。
- 中 方: ご遠慮なく、おっしゃってください。きちんと対応させていただきます。
- 日 方: 中国製品は確かに競争力があります。これは認めなければなりません。しかし、ここ数年来、中国製品の大量輸入によって、一部の業界では、国内企業の生存が脅かされるようになっていきます。このまま放っておけば、日本国内の貿易保護主義の台頭を引き起こしかねません。
- 中 方: そう言えば、何年か前に、日本が中国の三種類の農産物に対して、“セーフカード”を発動したことがありましたね。
- 日 方: そうです。これは一つのシグナルだと言えます。このような事態を放置してしまうと、両国の間に、もっと大きな貿易摩擦を引き起こす恐れがあります。
- 中 方: 中国は、一貫して、“平等互惠”の原則を踏まえて、各国と経済関係を推進してきました。両国の経済関係を発展させるという大局から出発すれば、これらの問題は、きっと円満に解決できると思います。
- 日 方: 私個人としても、そのように信じています。
- 中 方: 荒井さん、お忙しいスケジュールの中、わざわざ時間をさいて、また、こんなにもたくさんの貴重な情報をご紹介いただき、ほんとうにありがとうございます。
- 日 方: どう致しまして。古い友人ですから。今後、なにかありましたら、いつでも、ご連絡ください。

中 方:ありがとうございます。

二、单词及术语

(1)

変貌(へんぼう)	名 自サ	改变面貌、改观
感無量(かんむりょう)	名	无限感慨
一言(ひとこと)	名	一句话、一言
築き上げる(きずきあげる)	他上一	筑成、建成、建筑
発展途上国(はってんとじょうこく)	名	发展中国家
テンポ	名	速度
購買力(こうばいりょく)	名	购买力
平価(へいか)	名	平价
打ち出す(うちだす)	他五	打出、提出
浸透(しんとう)	名 自サ	渗透、渗入
奨励(しょうれい)	名 他サ	奖励、鼓励
優遇措置(ゆうぐうそち)	名	优惠措施
手本(てもと)	名	手里、手头、身边

(2)

競争原理(きょうそうげんり)	名	竞争机制
優勝劣敗(ゆうしょうれつぱい)	名	优胜劣汰
配分(はいぶん)	名	分配、配置
枠組み(わくぐみ)	名	框架、制度
総括(そうかつ)	名 他サ	总结
排除(はいじょ)	他サ	排除、摒弃
講じる(こうじる)	他上一	想(办法)、采取、想(对策)
内国民待遇(ないこくみんたいぐう)	名	国民待遇
小売(こうり)	名 他サ	零售、零卖
サービス業(サービスぎょう)	名	服务业
契約ベース(けいやくベース)	名	合同金额
導入(どうにゅう)	他サ	导入、引进、引用、输入
ランキング	名	名次排列次序
リスク	名	风险、危险
関税(かんぜい)	名	关税